

氏名：須藤 早紀

所属：地域教育文化学部 地域教育文化学科 児童教育コース 2年

派遣大学：ラトビア大学

派遣期間：2015年9月9日～9月27日

〈日本語教室での指導内容〉

- ・月～金 14:30～16:00、16:30～18:00 の2コマ
- ・ラトビア大学の学生だけでなく、社会人の方や他大学の生徒、高校生もいました。

初めの方は、山大生も5人ほどいたので少人数のグループになって教えました。**Beginner**では、まずは、ひらがなやカタカナを一通り教えたあとに、「ありがとう」、「こんにちは」の簡単なあいさつや色の名称、数の数え方を教えました。それから、「〇〇は△△です。」の文を作りました。文を作りながら、新しい単語をどんどん取り入れました。ひらがなやカタカナの形と発音はなかなか一致しませんでした。文を作る作業はうまくこなしていました。日本のアニメが好きな学生だったので、日本のアニメの影響があるのかなと感じました。

**Middle**では、毎回トピックを決めて、教えました。トピックは「どうぶつえんへ行こう」、「わたしの友だちを紹介しよう」、「自己紹介をしよう」などです。まずは、トピックに関連する単語を教えました。次に、例を提示し、自分で文をつくってもらったり、会話をしたりしました。日本語にしたい文を英語で書いてもらい、日本語に直したりしました。微妙なニュアンスの違いもあり、難しかったです。また、「は」や「が」、「に」などの助詞の使い方を教えることも苦労しました。助詞だけで教えることは難しいので、「～へ行きます。」、「～が好きです。」など動詞と一緒に教えました。

最後の方は、山大生も少なくなったので **Beginner** と **Advance** を1人ずつで担当しました。ラトビアに留学している日本人学生に声をかけ、日本語クラスを手伝っていただきました。私は **Beginner** を担当しました。毎回、「今は、なん時なん分ですか。」、「今日は、なん月なん日ですか。」、「昨日は、なんよう日ですか。」などの質問をし、答えてもらう会話から授業を始めました。継続していくことで、答えられる学生が増えてきました。次に、前回の復習を **Dictation** で行いました。「わたしはりんごが好きです。」などの文章を3回読み上げ、それをノートに書いてもらいました。**Beginner** では、少し難しいかなと思いましたが、**Beginner** の中でもレベルがさまざまだったので、レベルの高い学生のためにはいい試みでした。解き方もさまざまで面白いです。授業のメインはトピックを決め、文を作り、自分の作った文を一人ひとり読んでもらいました。みんなで一人の文を共有し、ボキャブラリーを増やしました。楽しさを感じてもらうために、授業ごとに日本文化を紹介しました。せんべいや金平糖を試食したり、折り紙をしたり、かるたをしたりしました。最後の授業では、私の好きな四字熟語を紹介し、**Beginner** と **Advance** 合同で「また会える日まで」の歌を歌いました。

ラトビアでの日本語クラスはベトナムとは違う雰囲気でした。日本語を積極的に使うベトナムの学生とは違い、日本語そのものが綺麗だから言語の1つとして学んでいる人や日本の美術を勉強するためのルーツとして日本語を学んでいる人がいました。もちろん将来、日本に行きたいと言ってくれる学生もいましたが。ベトナムの学生のように積極的に楽しく学ぶのではなく、静かに集中して私たちの話を聞いてくれるような感じでした。ちゃんと分かっているのかなど不安になることもありましたが、日本語が楽しいと思って、また次の日も来てくれたらいいなと思っていました。クラスが終わると、私に「またね」と笑顔でいってくれたり、一緒に写真を撮ろうと誘ってくれたりする学生が増え、嬉しかったです。次の日テストがあるのに来てくれたり、バイトの時間までと時間を見つけて来てくれたりする学生もいて、私も頑張ろうと思いました。ラストクラスでは、絵のプレゼントをくれたり、「教えてくれてありがとう」と言ってくれたり、チューターとしてのやりがいを感じました。

また、現地には大崎先生、美喜子先生も駐在しており、教え方に戸惑ったときアドバイスをいただき、改善しながら教えることができました。



#### 〈現地での交流活動〉

初めてのヨーロッパは町並みがとても綺麗でした。町の中にはいつも穏やかな音楽が流れていて、素敵でした。ラトビアは、思ったより自然もありました。気候は晴れていても寒いなと感じました。

食事はペルメニという水餃子みたいなものやハンバーガーなどありました。焼うどんやお寿司、ラーメンもありました。「TEA HOUSE」というおしゃれなカフェに行き、フルーツティーとハニーケーキを食べ、ゆっくりとした時間を過ごしました。授業は毎日午後からなので午前中はカフェでゆっくりするのがおすすめです。

授業以外でも、すしパーティーや誕生日会、**Farewell Party** をしました。ラトビアでは、誕生日会や **Farewell Party** は誕生日の人や送られる人が企画することにびっくりしました。

休日はリトアニアとエストニアに行き、バルト三国を制覇しました。ヨーロッパは隣の

国にバスに乗って4時間くらいで行くことができました。リトアニアでは、丘の上から綺麗な夜景を見たり、湖に浮かぶトゥラカイ城に行ったりしました。ツェペリナイやキビナイというリトアニア料理も食べました。エストニアは三カ国の中で1番静かで1番城壁が残っている印象です。高い場所からは海も見渡すことができ、私の好きな景色でした。三カ国に行くことでそれぞれの国の違いが感じられ、面白かったです。

ラトビアでも、ペテロ教会の上からの景色はとても綺麗でした。アイスホッケーの試合を観戦したり、動物園に行ったり楽しく過ごしました。楽しみにしていたオペラに行けなかったのが心残りです。

ラトビアやリトアニアでは、留学中の日本人学生と一緒にごはんに行ったり、いろんなお話をきいたりすることが出来ました。昨年までラトビアで私たちの受け入れを担当してくださった関口さんとお話することもできました。ラトビアで出会った人とのつながりをこれからも大切にしていきたいです。



#### 〈感想〉

このプログラムには、2回目の参加となりました。ベトナムの時とは、違う環境で生活だったため新たに多くのことを学ぶことができました。1つ目は、英語力です。会話は英語が多かったです。またレストランなどでも英語が多く使われていました。そんな環境の中で過ごし、英語が話せたら、英語をうまく聞き取れたらと感じる場面が多々ありました。これからは、実践的な英語を勉強したいと思いました。2つ目は、人とのつながりです。今回も多くの出会いがありました。一瞬のような出会いもあれば、これからも続いていくようなつながりもありました。すべて素敵な出会いで、一生忘れられないものになりました。ここで出会った人たちのつながりはもちろん、これからも人との出会いやつながりは大切にしていきたいと感じました。

私は将来、教員になりたいと考えています。海外に行くと、日本がどんな国なのか客観的に見えることがあります。日本のよさを伝えられる人になりたいです。また、海外生活で身につけた臨機応変に対応すること、柔軟に物事を考えることを将来に生かしたいです。

はじめは不安な気持ちもありましたが、帰国してからは行ってよかったという気持ちとまわりの支えへ感謝の気持ちでいっぱいです。やりたいと思ったことは行動にうつすこと、今いる場所で精一杯楽しむことを忘れずに、限られた大学生活のなかでこれからもいろんな

なことに取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。

